

令和8年5月27日 松浦

3区の報道担当から同様のプレスリリースを発信しています。重複する場合はご了承ください。

特別区長会の有志の区長が連名で、自由民主党に 「住宅宿泊事業の適正化に関する要望書」を提出

本日、墨田区長（山本亨）、新宿区長（吉住健一）及び江戸川区長（斉藤猛）は、自由民主党本部を訪れ、萩生田幹事長代行に「住宅宿泊事業の適正化に関する要望書」（別紙）を提出しました。

本要望書は、特別区長会において賛同した21区の区長が連名で作成し、3区が代表して提出しました。また今後、住宅宿泊事業に係る省庁に対しても、本要望書を提出する予定です。

特別区における住宅宿泊事業の届出住宅数は、近年のインバウンドの増加に伴い、全国の4割以上を占めるまでに増加しています。

一方で、特別区では、宿泊者による騒音やごみの不適正排出など、周辺住民の生活環境への悪影響が顕在化しているほか、事業者と連絡がつかず必要な指導が行えない事例や、無届営業も後を絶たない状況にあります。

こうした状況を踏まえ、住民生活との調和を図るためには、地域の実情に応じた規制の充実と実効性のある対策が不可欠であると考えます。

特別区長会において賛同した区長は、法改正を含む住宅宿泊事業制度の適正化を早急に行うよう強く要望しました。

《写真》 要望書提出の様子（5/27撮影）



左から、山田美樹 衆議院議員、斉藤猛 江戸川区長、萩生田光一 幹事長代行、吉住健一 新宿区長、山本亨 墨田区長

《資料》 住宅宿泊事業の適正化に関する要望書（別紙）

《問合せ》 墨田区 保健衛生部 生活衛生課 Tel03-5608-6939

※ お問い合わせは午後5時までをお願いします。（広報広聴担当 Tel03-5608-6220）